

# 水土里レポート

投稿月日 令和7年5月28日(木曜日)

タイトル 当麻町田んぼの学校(田植え)

水土里レポーター名 小野寺 孝一

令和8年(12回目)を迎えた当麻町田んぼの学校「田植え」実施する！



田植え開始です



北海道を代表する花「スズラン」  
photo by k.onodera

## 田んぼの学校とは？

◇全国的にも例のない、町が所有する「田んぼの学校」

約2ヘクタールの敷地に、3区画の水田と農舎を有し、そこで当麻町が進める三育(食育・木育・花育)の「食育」がスタートします。

開校した2015年から多くの町民皆様のお力添えを頂きながら、田植えや稲刈りを行って来ました。収穫したお米(7,000kg)は町内の小・中学校・幼稚園1年分の給食となります。



当麻町長村椿哲朗実行委員長挨拶



令和8年5月26日(火)午前10時30分から実行委員長:村椿哲朗当麻町長の挨拶後、当麻小、当麻中学生180名と地域ボランティア(約200名)約400名が気温19℃のなか、約1時間「田植え」に挑戦しました。

なかには足が抜けなくなり、転倒して泥んこになりながら丁寧に苗植えをしていました。

秋になって収穫して美味しいご飯を食べたいです。と笑って話していました。(小学6年男子)

前日から女性連絡協議会とボランティア会の方々が500名分のカレーライスを用意してくれました。

皆で食べると美味しと、お代わりして3杯食べた子どももいました。

10月には収穫祭(稲刈り体験)を実施しますので、ボランティアで参加してみては…



挨拶の中で日本農業新聞:学校給食アワード初代グランプリに『当麻町田んぼの学校』が選ばれた。審査委員長は教育評論家で法政大学名誉教授:尾木直樹氏「メニューだけでなく学校給食全体の取り組みを表彰する意義は大きい」と述べられた。

(2026.2.26.)

